

これまで生産性を高めるために、さまざまな産業分野でデジタル化が推進されてきました。また最近では新型コロナウイルス感染症の流行に起因して人と人との接触を減らすという視点も加わり、その流れはさらに加速しています。このように、普段の仕事や生活においてもデジタル技術なしでは対応できなくなりつつあるように感じられます。

今月号では、「鉄道設備保守の効率化」と題して、列車を安全に走行させるために多くの時間と労力が費やされている電車線、線路および台車の点検や保守を、デジタル技術を活用して効率化する最新の取り組みを紹介しました。これまでベテラン技術

者の目や経験に頼ることが多かったこれらの鉄道分野においても、デジタル技術を有効に取り入れ、技術者の経験を活かしながらも効率的に鉄道設備を保守する新しい体制の構築が重要と考えます。これは技術者の高齢化や労働人口減少の課題を解決し、さらには鉄道設備のさらなる安全性の向上に寄与できる可能性があります。

来月号の特集は、「鉄道利用者の安全性向上」をお届けします。鉄道総研では、鉄道を安心して利用していただくため、さまざまな視点から利用者を守るための安全性の向上に取り組んでいます。どうぞ、ご期待ください。(Y.T.)